

学校だより

一心

八戸市立第一中学校

発行：校長 四戸 康雄

第 45 号

3学期スタート 今年もよろしくお願ひいたします

3学期がスタートしました。14日（木）の始業式に次のような話をしました。

日本には春夏秋冬の四季がありますが、それをさらに細かく分けた二十四気というものがあります。2学期終業式で話した冬至はその24番目になります。そして一番はじめが1月6日の小寒です。この小寒の頃から寒さが厳しくなり、1月20日ころの大寒のあたりが寒さの一番厳しい時期だとされます。その次の立春になると寒さも和らぎ、春が近づくということになります。これから3週間ほど寒さの厳しい時期になりますが、寒さに負けず、元気に勉強しましょう。

さて、3学期は1年間のまとめの学期であると同時に、次の学年への準備の学期でもあります。3年生は自分の進路を決めることになります。そして、いよいよ卒業を迎えます。2年生は間もなく最上級生になります。一中の顔といわれるにふさわしい力をつけてほしいものです。進級前には立志式もあります。1年生は上級生になります。春には後輩が入学しますが、先輩と呼ばれることへの準備をしっかりとしましょう。

各学年とも、1・2学期を振り返って、足りなかった部分、できなかった部分の補充を行い、力をつけて、卒業・進級できるように頑張りましょう。

昨年実施のアンケート結果から

昨年11月には、お忙しいなか、アンケートへの御協力ありがとうございました。以下、教育目標に関わる項目で、特徴的なものについて気のついた点をまとめてみます。

①生徒・保護者・教員のいずれもが高い評価だったもの

- ・学習用具を忘れず授業に参加した。(学習用具を忘れず準備できた)
- ・自他の生命を大切にした。
- ・部活動を休むことなく、意欲的に取り組んだ。

②生徒と保護者の評価が高く教員の評価が低かったもの

- ・よい姿勢で授業を受けることができた。
生徒は74.2%がAまたはB（よくできた）と回答していますが、教員は57.1%がC（あまりよくない）と回答しており、姿勢に対する意識の隔たりが感じられます。生徒の皆さんは、もっと姿勢をよくするという心を心がけて生活しましょう。
- ・時と場に応じたあいさつや返事ができた。
生徒の84.2%と保護者の89.9%がAまたはB（よくできた）と回答していますが、教員は60.7%にとどまりました。家の中や学校の授業時などのあいさつはよくできているようですが、登下校時や学校内でも廊下ですれ違ったときなどのあいさつがまだ不十分のようです。特に職員玄関付近でのお客様へのあいさつを元気にしましょう。

【裏面へ続く】

- ・ 教師や仲間の話をしっかり聞き取ることができた。
このことについて、生徒の90.0%と保護者の76.1%がAまたはB（よくできた）と回答していますが、教員は57.1%にとどまりました。授業や話し合い活動などで、話し手を見て集中して聞くことが求められます。
- ・ 友達をいじめたり、悪口を言ったりしませんでした。
このことについて、生徒の86.9%と保護者の83.6%がAまたはB（よくできた）と回答していますが、教員は64.3%にとどまりました。何気ない一言が相手の心を傷つけていることもあることを忘れず、みんなで注意していきましょう。

③教員の評価が高く生徒と保護者の評価が低かったもの

- ・ 進んで読書をした。
このことについて、教員は92.8%がAまたはB（よくできた）と回答していますが、生徒は74.5%、保護者は53.0%にとどまりました。先生方は朝読書の様子を見てよい評価を与えているのかもしれませんが、それに対して保護者の評価が低いのは、家庭での読書があまりなされていないということでしょうか。

④自由記述から

- ・ 参観日の日程(曜日)について
このことについて、日曜日の実施に賛否両論がありました。参観日は1学期と3学期は平日に、2学期は日曜日に実施しています。また、平日の場合は同じ曜日にならないようにずらしております。各家庭（保護者）によりさまざまな事情があるわけですが、全ての要望に応えることはできませんので、都合のつく限りでの参観をお願いします。
- ・ 登下校時の道路歩行について
3～4列になって歩いていて危ないということでした。毎年地域の方からも同様のお電話をいただき、指導しているところです。家庭でも話題にしていただければと思います。また、見かけたときには一声かけていただくと助かります。
- ・ 部活動の休日と終了時間について
部活動終了時間は、夏期と冬期の別、延長の有無などにより異なりますが、終了時間を守って生徒を下校させるように指導しております。また、大会への参加など特別の事情のない限り、土・日のいずれかは休日とすることや、水曜日は活動休止日とするなど、生徒の健康や学習に配慮して活動しております。部活動が最優先されるものではありませんので、家庭の都合等により欠席する場合欠席の連絡を行ってお休みください。
- ・ テストの日程の日数を増やして1日分のテスト科目を減らしてほしい
学校で行う授業の年間時数は、1015時間以上行うことが文部科学省の定める学習指導要領によって規定されております。これをクリアするためにいろいろと工夫を凝らして教育内容を定めておりますが、テストの日数を増やしますと1015時間の確保が難しくなることから、現在の日程となっております。また、高校入試では、1日に5教科のテストと面接まで行うことから、その訓練にもなると考えております。

※以上のほかにも多くの御意見や激励を頂戴いたしました。新年度に向けての教育計画づくりの参考にさせていただきます。また、1年に1回のアンケートだけでなく、何かお気づきの点があったときには、その都度御指摘をいただければ幸いです。ありがとうございました。